

発行 2022 年 9 月 20 日

志木ニュータウン中央の森貳番街

管理組合理事会

ファミリータイムズ

第 41 期第 1 号（通算 91 号）



「昔はこれほど暑くなかった」 「やはり地球温暖化か」 「埼玉は都心より暑いよ」

中貳の取り組みについて

中央の森貳番街管理組合理事長 山代和宏

今年の夏も酷暑となりました。第 41 期第 1 号のファミリータイムズをお届けできるのは暑さ対策にも有効なサッシ改修工事の個別調査も終盤に向かう頃でしょうか。中央の森貳番街全 476 戸の現地調査を実施して頂いている YKKap の皆様、また調査にご協力頂いた住民の皆様、暑い中ありがとうございます。この調査に基づきサッシ設計図の作成、個別相談、図面承認、サッシ製作という工程を経て、来年夏以降に取付工事となります。

この工事は志木ニュータウン全 8 街区の中でも中央の森貳番街が先駆けて行います。竣工後 40 年余り経過する中で全 476 戸同じ条件の部屋は無いとも言えるでしょう。今後、工事の中で戸惑うシーンもあるかも知れませんが、住民の皆様のご協力を仰ぎながら、他街区の方がうらやむような快適な貳番街にしたいと考えております。

その他、地球環境の変化に伴う災害に対する備え、不審者の侵入に対する防犯対策、緑豊かな樹木や街路の管理・整備等、住民の皆様が安心・安全に暮らすことができる環境を整えたいと考えております。

活力ある街 デザインについての提案

修繕専門委員会

10 年程前、私は東上線のふじみ野に住んでおり東上線で都内まで通勤していました。車窓から見える柳瀬川周辺の景色はやや退屈で、桜の時期以外は降車することのない無縁の街でした。乗降客も少なく、変化もなく、恐らく今でも多くの方が同じ印象をお持ちなのではないでしょうか。

ただ、住民の高齢化は進んでいるものの、立地の良さ、環境の良さ等の変わらぬポテンシャルは今も健在で、若い方の入居も増えている印象です。

そのように考える中で、より活力が感じられる、より魅力的な街づくりとは何でしょうか。ご存知のように中貳は来年、14 年に一度の大規模修繕工事があり、外装を全てリニューアル致します。修繕工事を行うカシワバラ・コーポレーションに確認したところ、外壁の色を変えたり、部分的に塗り分けをしたり、いわゆる外装デザインを変えることに追加料金は発生しないとのことでした。

そこで今回は、各棟のデザインを一新することで若年層に振り向いてもらい、少しでも活気ある活力ある街にできないか、という提案です。もちろん慣れ親しんだ外壁色を変えることに対して反対意見もあって当然かと思えます。今後アンケート等を通して皆様の意見をお聞きしたいと考えております。

下の写真はあくまでも素案です。感想をお寄せ頂きたく存じます。

○1～3号棟

階段のR形状の腰壁に着色（腰壁の汚れ防止）
入口部分の庇・柱脚に着色



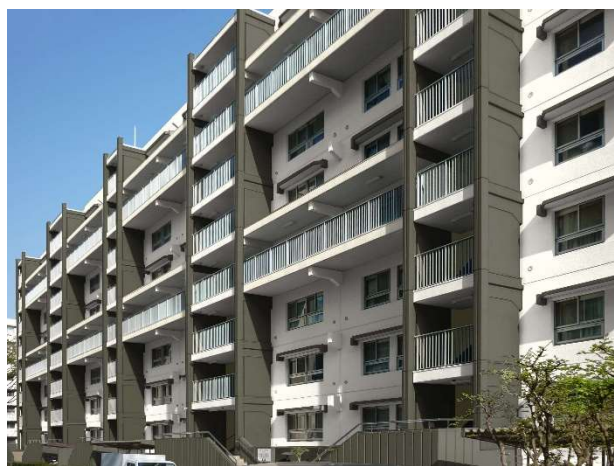
○5号棟

鉄骨階段（両端）に着色
（鉄骨の汚れ防止）



○4号棟

外階段の両袖壁に着色
窓上部の小庇小口に着色（汚れ防止）



○6～7号棟

エレベーターシャフトに着色
中参の7～8号棟にも協力要請



「赤木ニュータウン中央の森」型色案7号棟・参集街7・8号棟
提案色
※色案はあくまでも素案です。実際の色は現場での確認が必要です。

第41期防災専門委員会の活動について

防災専門委員会

40期（2021年度）は、継続するコロナの影響を受けてしまい十分な活動はできませんでしたが、その中でも「ひと声かけて登録」及び「災害ボランティア」の再募集を行うことができ、緊急時の「安否確認」を実施する為の体制強化ができたと思います。

また、自主防災会と災害ボランティアのみによる、安否確認訓練も実施する事ができ、災害に強い街づくり強化に繋がる行動ができた事をうれしく思っております。

参加いただきました災害ボランティアの皆様、自主防災会の皆様、有り難う御座いました。今後も宜しくお願い申し上げます。

41 期につきましても、引き続きコロナの影響を強く受けつつも、できる事から順次調整してゆく考えに変わりはありません。宜しくお願い致します。

これまでの委員会で検討してきた懸案事項についても、問題点が多種多様に変化してきており、専門的な見地も多岐に及んできた事を感じておりました。その様な事から、今期は委員会内を五つのワーキンググループ（WG）に再編し、それぞれが専門担当として、年間の行動計画を立案・実行することにトライします。今回は、その内容や考え方をご報告したいと思います。

1. 連絡網の充実チーム

緊急時こそ関係者間の連絡は必須です。昨年、防災専門委員会内の LINE グループを作り、その利便性の確認ができました。これを自主防災会（管理組合・防災専門委員会・町内会）へ拡大できないか研究しております。いずれは災害ボランティア様へも拡大をもくろんでおります。また、緊急時に携帯電話や PC メール等使えない時はトランシーバーが頼りです。幸い貳番街は狭いエリアに居住していることから、トランシーバーの通信範囲に収まります。但し、このトランシーバーは、現在 10 台しか保有しておりません。市からの補助金などを有効利用しながら、増大してゆく計画を立てております。

2. 緊急時の動き方構築チーム

緊急事態が発生してしまった時、必ず安否確認を行うことにしております。その為の準備にあたって、自主防災会の皆さんはテントの組み立てができるでしょうか？止水板の設置について、指導できるでしょうか？高層棟などの階上からの救出に使う「イーバックチェア」をうまく使うことができるでしょうか？これら実際に経験しておかなければならない事など自主防災会のメンバーのスキル UP を計ります。また、防災知識の向上のための講座や講習会などの開催を担当します。

3. 定期的な防災訓練チーム

防災訓練を定期的に計画する事で、潜在的な問題点や改善点を研究します。今期は、「ひと声かけて登録」の意義や効果について、全戸へのアンケートを行う事で被災時にどのようなことが要望されるのかなど、見えない部分の研究を行います。また、夜間訓練や停電時の対応など、多岐にわたる訓練を計画したり、昨年配布されました「志木市地区別防災ガイドブック・館地区」編の勉強会も検討中です。ボランティア集会や防災訓練も検討しております。

4. 各種点検チーム

これまで揃えてきた、防災機器や備品など点数も増大してきました。いざと言う時、これらがうまく機能するか、使用に耐え得る状態なのか、平時の確認が必要です。また、乾電池や衛生用品等、使用期限が定められている物もたくさん保有しております。気が付いたときに補正する様では、いざと言う時には役に立たないのではないのでしょうか。これらを統計的に期日管理できる仕組みを検討中です。初期調査では、想定以上に定期点検が必要であることが判明しております。

5. 防災倉庫改修チーム

防災倉庫を立て替えて頂いてから4年が過ぎようとしております。その間に装備品も増大し、恒久的な配置や利便性など、改修が必要となってきました。

また、収納棚自体は、地震時の揺れに強い構造になっておりますが、収納物が飛び出さないための補助等、装備品を守る事も重要です。「取り出し易く収納しやすい・地震に強い・何処に何があるか判りやすい！」をモットーに、どなたが来ても、目的の物がすぐ取り出せる倉庫に改修したいと考えております。

各チームが、それぞれに課題をこなしてゆく事で、これまで以上にスピードUPが計れると考えておりますが、確実に定着させてゆく事も重要です。理事会への諮問機関としての役割をしっかりと意識しながら活動してゆきたいと思っております。今後とも、ご理解ご協力の程宜しくお願い申し上げます。また、専門的なアドバイスやご意見が有りましたら、回覧版に付帯の意見書などでお知らせください。皆様と共に、災害に強い街づくりを目指してゆきたいと思っております。



LED 室内・室外灯 (100W)



大容量バッテリー (100V)

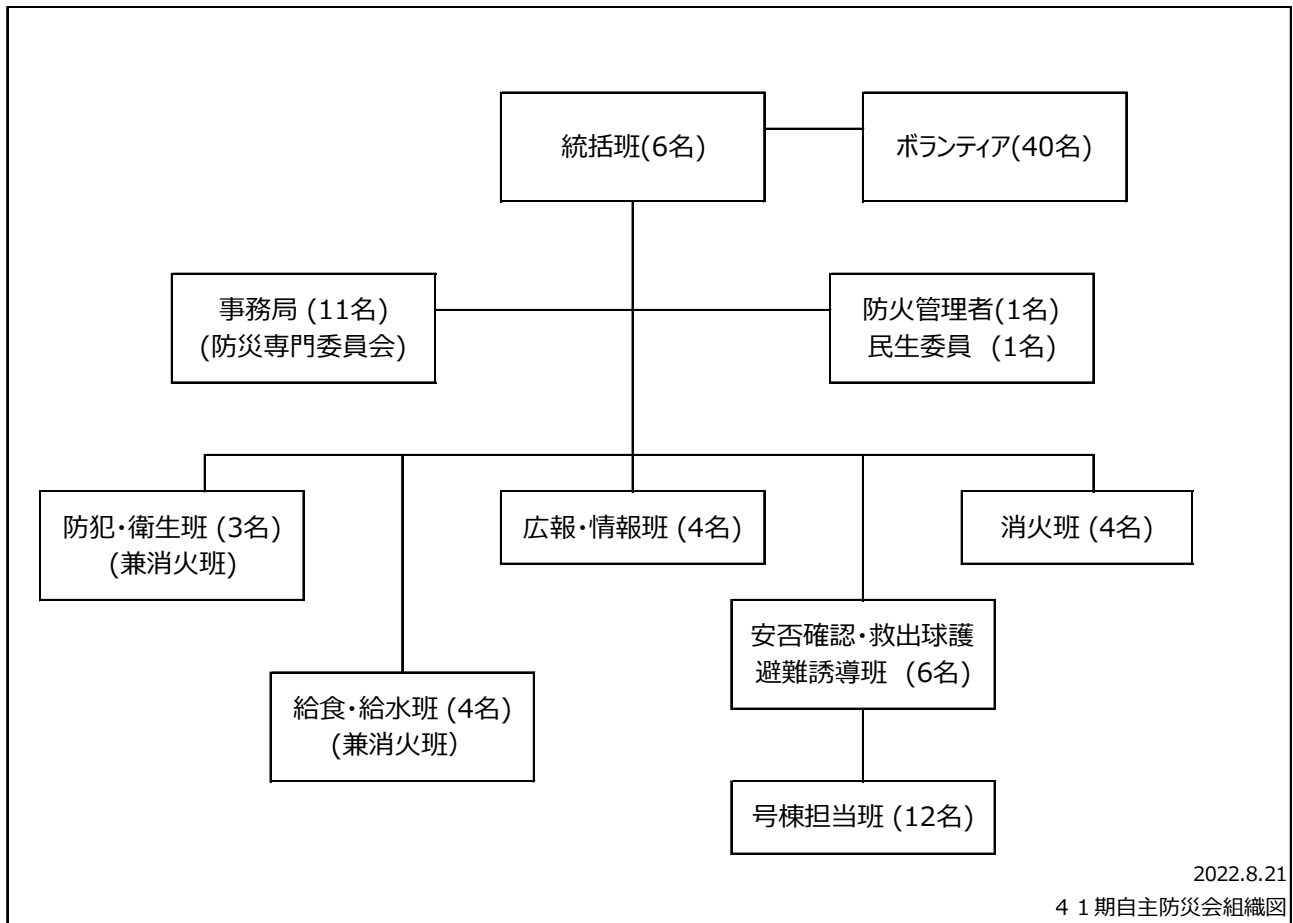


発電機 (ガソリン・100V)



照明灯と電力

中央の森式番街自主防災会



自主防災組織化の理由

自主防災組織は「災害対策基本法」に定められた組織で、同法第五条で「市町村の責務」、第七条で「住民の責務」が定められています。

① 市町村の責務

住民の生命、身体及び財産を災害から保護する目的で、防災計画を作成し防災活動を実施する。この責務を遂行するため、住民の自発的な組織としての「自主防災組織」の充実を図り、市町村の機能を発揮すること。

② 住民等の責務

住民は、自ら災害に備えるための手段を講ずると共に、自発的な防災活動に参加する等、防災に寄与するように努めなければならない。

中央の森式番街自主防災会は、「災害対策基本法」に準拠し、志木市の支援の下で、管理組合と町内会が共同して結成した組織です。

中央の森式番街の自主防災会組織

中央の森式番街自主防災会組織は災害発生時に中核となる「統括班」を中心として、防災専門委員会が実質的な事務局として活動しております。

平時は、事務局が月1回の委員会で、減災・防災の計画を検討しております。災害時には「統括班(6名)」の上位順位者が指揮を執る事にしています。特に新型コロナウイルス感染症下における災害時には慎重な対応が求められます。

統括班 6名		
災害発生時の組織全体の統括を担います。		
7-407	八尾 恵司	(管・専)
6-1302	小澤 純	(町・囃)
5-105	安本 進	(管・専)
4-102	加藤 日佐夫	(管・専)
5-206	田島 伸一郎	(囃)
4-305	小柴 和之	(町・囃)

ボランティア (登録者40名)		
公募された「災害ボランティア」と「人材バンク」登録者の方々。災害発生時には「ひと声かけて」登録の方々を優先して、安否確認を行います。		

事務局(防災専門委員会) 11名		
管理組合と町内会の常設機関であり、自主防災会活動の計画立案と実行推進の母体です。		
1-103	本多 公恵	(囃)
4-102	加藤 日佐夫	(管・専・兼)
4-305	小柴 和之	(町・専)
5-105	安本 進	(管・専・兼)
5-206	田島 伸一郎	(囃)(兼)
5-707	朝日 加代子	(囃)
6-703	櫻井 辰彦	(町・囃)(兼)
6-1302	小澤 純	(町・囃)(兼)
7-806	関口 健次	(町・囃)
7-310	大石 洋	(管・専)
7-407	八尾 恵司	(管・専)(兼)

防火管理者 1名		
消防法第9条に基づき消防当局へ届け出た防火管理業務を行う方です。		
5-206	田島 伸一郎	(囃)(兼)

民生委員 1名		
地域福祉をサポートする身近な相談相手です。		
5-707	朝日 加代子	(囃)(兼)

広報・情報班 4名		
行政当局の支援情報や周辺情報の収集と住民・避難者への情報伝達を担当します。		
7-1204	山代 和宏	(管)
6-1302	小澤 純	(町・囃)(兼)
6-703	櫻井 辰彦	(町・囃)(兼)
7-501	古賀 純	(管)

防犯・衛生班(兼消火班) 3名		
災害発生時点からの防犯活動と災害現場の衛生状態の維持及び消火班を補助します。		
6-305	阿部 敏夫	(管)
6-407	岡本 順子	(町)
7-502	田村 慶則	(町)

安否確認・救出救護・避難者誘導班 6名		
災害発生直後から避難行動開始までを、号棟班と連携して安否確認をします。消防の手が回らない間の救出搬送も担います。		
7-602	小金澤 広樹	(管)
6-902	河崎 陽子	(管)
6-509	山崎 貴志	(管)
2-502	中村 智紀	(町)
5-608	中野 典子	(町)
7-810	山本 良	(町)

号棟担当班 12名		
各号棟でボランティアが収集した安否確認情報を集計し、安否確認班に報告します。		
① 1-204	齋藤 勝之	(管)
② 2-102	茂手木 優雅理	(管)
③ 3-102	野崎 敏子	(町)
④ 3-103	北澤 輝夫	(管)
⑤ 4-101	井上 智	(管)
⑥ 4-501	榎谷 望	(町)
⑦ 5-307	石古 一枝	(町)
⑧ 5-804	江郷 悠一郎	(管)
⑨ 6-110	米倉 裕子	(町)
⑩ 6-103	古屋 清	(管)
⑪ 7-104	桑原 奈緒美	(町)
⑫ 7-605	田地 勲	(管)

○内の数字は担当の号棟を示します

給食・給水班(兼消火班) 4名		
避難者への炊き出し、食料支援、飲料水確保や分配をします。併せて消火班の補助をします。		
6-607	琵琶坂 美智子	(管)
1-103	本多 公恵	(囃)(兼)
7-207	岩崎 奈緒子	(町)
7-806	関口 健次	(町・囃)(兼)

消火班 4名		
火災発生時の初期消火活動を行います。延焼を未然に防ぐため、他班の協力を仰ぎ被害の拡大を防ぎます。		
3-403	岩田 宏之	(管)
6-1004	舟崎 文博	(町)
6-1205	岡田 武人	(町)
7-310	大石 洋	(管・専)(兼)

(管) 管理組合 理事
(町) 町内会 役員
(専) 防災専門委員会 委員
(囃) 管理組合 委囃
(兼) 自主防災会組織内 兼務

人数合計: 92名(自主防災会+単独ボランティア登録)
※表中の(兼)は人数に合算

2023年度の担当一覧に
変更する

統括班 6名

災害発生時の組織全体の統括を担います。

7-407	八尾 恵司	(管・専)
6-1302	小澤 純	(町・嘱)
5-105	安本 進	(管・専)
4-102	加藤 日佐夫	(管・専)
5-206	田島 伸一郎	(嘱)
4-305	小柴 和之	(町・嘱)

ボランティア (登録者40名)

公募された「災害ボランティア」と「人材バンク」登録者の方々。災害発生時には「ひと声かけて」登録の方々を優先して、安否確認を行います。

事務局 (防災専門委員会) 11名

管理組合と町内会の常設機関であり
自主防災会活動の計画立案と実行推進の母体です。

1-103	本多 公恵	(嘱)
4-102	加藤 日佐夫	(管・専)(兼)
4-305	小柴 和之	(町・嘱)(兼)
5-105	安本 進	(管・専)(兼)
5-206	田島 伸一郎	(嘱)(兼)
5-707	朝日 加代子	(嘱)
6-703	櫻井 辰彦	(町・嘱)
6-1302	小澤 純	(町・嘱)(兼)
7-806	関口 健次	(町・嘱)
7-310	大石 洋	(管・専)
7-407	八尾 恵司	(管・専)(兼)

防火管理者 1名

消防法第8条に基づく消防当局へ届け出た
防火管理業務を行う方です。

5-206	田島 伸一郎	(嘱)(兼)
-------	--------	--------

民生委員 1名

地域福祉をサポートする身近な相談相手です。

5-707	朝日 加代子	(嘱)(兼)
-------	--------	--------

広報・情報班 4名

行政当局の支援情報や周辺情報の収集と
住民・避難者への情報伝達を担当します。

7-1204	山代 和宏	(管)
6-1302	小澤 純	(町・嘱)(兼)
6-703	櫻井 辰彦	(町・嘱)(兼)
7-501	古賀 純	(管)

防犯・衛生班 (兼消火班) 3名

災害発生時点からの防犯活動と災害現場の
衛生状態の維持及び消火班を補助します。

6-305	阿部 敏夫	(管)
6-407	岡本 順子	(町)
7-502	田村 慶則	(町)

安否確認・救出救護・避難者誘導班 6名

災害発生直後から避難行動開始までを、号棟班と
連携して安否確認を集計します。
消防の手が回らない間の救出援護も担います。

7-602	小金澤 広樹	(管)
6-902	河崎 陽子	(管)
6-509	山崎 貴志	(管)
2-502	中村 智紀	(町)
5-608	中野 典子	(町)
7-810	山本 良	(町)

号棟担当班 12名

各号棟でボランティアが収集した安否確認情報を
集計し、安否確認班に報告します。

①	1-204	齋藤 勝之	(管)
②	2-102	茂手木 優雅理	(管)
③	3-102	野崎 敏子	(町)
③	3-103	北澤 輝夫	(管)
④	4-601	井上 智史	(管)
④	4-506	櫛谷 愛美	(町)
⑤	5-307	石古 一枝	(町)
⑤	5-804	江郷 悠一郎	(管)
⑥	6-110	米倉 裕子	(町)
⑥	6-103	古屋 清	(管)
⑦	7-104	桑原 奈緒美	(町)
⑦	7-605	田地 勲	(管)

○内の数字は担当の号棟を示します

給食・給水班 (兼消火班) 4名

避難者への炊き出し、食料支援、飲料水確保や
分配をします。併せて消火班の補助をします。

6-607	琵琶坂 美智子	(管)
1-103	本多 公恵	(嘱)(兼)
7-207	岩崎 奈緒子	(町)
7-806	関口 健次	(町・嘱)(兼)

消火班 4名

火災発生時の初期消火活動を行います。
延焼を未然に防ぐため、他班の協力を仰ぎ
被害の拡大を防ぎます。

3-403	岩田 宏之	(管)
6-1004	舟崎 文博	(町)
6-1205	岡田 武人	(町)
7-310	大石 洋	(管・専)(兼)

(管) 管理組合理事
(町) 町内会役員
(専) 防災専門委員会委員
(嘱) 管理組合委嘱
(兼) 自主防災会組織内兼務

人数合計: 92名 (自主防災会+単独ボランティア登録)

※表中の(兼)は人数に合算

貳番街に百日紅（サルスベリ）は何本あるか

環境整備担当

中央の森貳番街は、七つの街区がある志木ニュータウンのなかでも、とりわけ豊かな植栽に恵まれているのが持ち味です。

いま残暑がまだ厳しい時節ですが、そのなかでもかわいらしいピンクの花を身の丈いっぱい咲かせてくれているのが「百日紅」です。サルスベリという呼び名はこの木の幹が〈猿も滑って登れないほどすべすべしている〉ところからきているようです。他方、この木の漢字表記はその紅の花が初夏から秋にかけて百日にもなるほど咲きつづけてくれるところに由来します。日本語表記には当て字が多いなかで「百日紅」と書いて「サルスベリ」と読ませるなんて、外国人には気の毒ですね。

さてそこで問題です。私たちが住む貳番街にはその百日紅が何本植わっている（いま咲いている）でしょうか？

——正解は5本です（意外に多いでしょう）

昨年の夏に発見したのですが、この5本の百日紅を一箇所からいどきに全部見渡すことのできるスポットがあります。それは2号棟と3号棟の間を通る細い歩道を円形広場に向かって抜ける際に、車が通るエリアを横切るあたりです。

まず目の前に1本あります。振り向くと2号棟の西側に聳えている背の高い百日紅が空に向かって花を咲かせているのが見えます。再び顔を広場の方に向け直すと、5号棟の東側の植栽エリアの手前側に1本咲いているのが垣間見えます。その目を右に90°向け直すと、今度は4号棟の一番西側、6号棟との間の植栽エリアに、元気のいい百日紅の姿が見えます。さらに目を右に移すと、4号棟の南斜面の一番東端にも歩道に面して1本花を咲かせているのが遠望されるでしょう。

このように、夏の緑一色の景色のなかをぐるっと360°目を巡らすだけで、いっぺんに5本のピンクの花が見渡せるのです。

皆さんもこの季節に百日紅探しを試されたら如何でしょうか。

編集後記

総務担当

両親が新築でNTを購入して地域活動は親任せだったので、今までは地元愛がそれほど強くなかったと思います。

区分所有者となって理事会の活動に参加して、理事長はじめ専門委員の方々が、プライベートを削って月に何回もの会議に出席し、熱い思いで活動してくださっていることがよくわかりました。

横浜の築50年の団地では、建築家とクリエイティブディレクターが加わった「団地の未来プロジェクト」によって、若い家族が集まる魅力的な街に生まれ変わったそうです。

私個人の思いですが、見慣れた光景に色彩が加わることで新鮮な風景となり、もっとワクワクして暮らすことができるのではないかと、NTの未来を秘かに楽しみにしています。

編集・発行：志木ニュータウン中央の森貳番街管理組合
皆さまの記事・写真をお待ちしています。